

銀ちゃんレポート

2023年2月16日 No.219

<発行> 台東区議会議員

<携帯> 080-4457-1987

やまぐち ぎんじろう

山口銀次郎



防犯対策の強化を

この前訪れたお宅で、扉を開けて対話させていただきましたがその際に、最初誰が来たのか不安だった、強盗事件の報道を連日目にすることが多く人が来ると警戒する、名乗ってくれたから出て来た、最近は何が訪ねてきても不安を感じる物騒な世の中になって嫌だ、など最近犯人が海外から日本に送還され逮捕された事件の話になりました。この事件は、インターネット上で実行犯を募集し、指示役は海外から強盗する家などを指示し、被害は全国各地で発生していました。こういういった事件をきっかけに、家の防犯対策を見直してみようか。

最近ではカメラ付きのインターホンも多くなりました。音が聞こえる物や調子が悪くカメラが機能しなかったり音声が入り聞き取れない状況になっている物もあるかと思えます。そういう時は、ドア越しに来訪目的を訪ねたり、可能ならいきなりドアを開けず窓から相手を確認するなどしてはどうでしょうか。

また市販されている防犯グッズを、使用するのにも良いかとも思われます。窓に防犯フィルムを貼って強度を上げないで良いのでしょうか。市販のフィルムを自分で貼るのも良いですが、間違った貼り方をしている間は効果が減ってしまいます。専門の業者に頼んだ方が良いかもしれませんが、窓の強度が上がるので、台風などの防災対策としても一定の効果があります。強盗の手口には、宅配業者を装い、ドアを開かせ押し込むというものもあります。大手事業者は制服を着ていますが、そういった物も何らかの手法で入手することも出来ますし、委託事業者などは特定の制服を着用していません。直接ドアを開けて受け取らず、その場に置いてもらう置き配を利用してはどうでしょうか。

狙われるかどうかは相手次第の部分がありますので、各自で出来る防犯対策をこの機会に検討してみようか。